

講義名	スポーツビジネス論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	山口 泰雄		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	32055

主題と概要

現代社会は、高度情報化、グローバル化、少子高齢化を特徴にして、急速な進化を遂げている。半面、わが国では医療費の高騰や人口減少、都市と地方の格差の拡大など、さまざまな社会課題が浮上している。このような社会情勢の中、スポーツの社会効果、経済効果など、スポーツの持つ力が評価されている。本稿では、スポーツビジネスに関する基礎知識を習得し、スポーツビジネス領域の概要と現状に関する理解を深める。また、スポーツビジネス領域に求められる人材の資質とは何かを議論し、自ら積極的に企画・立案力を高め、社会貢献できる人材としての基礎を学ぶ。

到達目標

本稿の到達目標は、以下のとおりである。
 1) スポーツビジネスに関する基礎知識を身に付ける
 2) スポーツビジネスに関する諸産業(用品産業、施設・空間産業、サービス・メディア産業)の理解を深める。
 3) スポーツビジネスの対象に、マーケティング戦略の企画・立案を習得する。

提出課題

授業終了時に、その日の感想、質問、ポイント等を提出してもらおう。また、レポート課題を課すことがある。

評価の基準

評価は、下記の基準により行う。
 試験 50%、受講態度・質問等 25%、レポート・小レポート 25%

履修にあたっての注意・助言他

提出物の期限厳守、私語厳禁、資料・書籍の通読、授業計画は進行状況により、変更する可能性がある。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

プリント資料は必要に応じて配布する。 参考図書は、「スポーツ産業論 第6版」(原田宗彦 杏林書院)。

授業計画

第1回： スポーツビジネスとは？
 第2回： スポーツビジネスの背景とその歴史
 第3回： スポーツ用品産業の概要と具体的事例
 第4回： スポーツ施設・空間産業の概要と具体的事例
 第5回： スポーツサービス・情報産業の概要と具体的事例
 第6回： 海外のスポーツイベント・ビジネス
 第7回： 国内のスポーツイベント・ビジネス
 第8回： 海外におけるプロスポーツ・ビジネス
 第9回： 国内のプロスポーツ・ビジネス
 第10回： 海外のスポーツツーリズム
 第11回： 国内のスポーツツーリズム
 第12回： ゲスト講師によるスポーツビジネスのプレゼン(Q&A)
 第13回： オリンピックの歴史の変遷とスポンサーシップ
 第14回： 地域スポーツのビジネス化とその可能性
 第15回： 神戸スポーツ産業懇話会(SINK)の歩みと成果

予習・復習

予習： 各講義の事前に、授業計画の内容を自宅学習すること。
 復習： 講義の最後に、「今日のまとめ」を提示するので、その部分の復習を行うこと。

備考